京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金[illegible]▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太郎
印刷人 松久榊一

京城西署西小門通（電話六六八(三)）

發行所 京城新報社

雜報

森安博士の講演（四）
▲ペスト豫防心得▼

夫で黴菌と云ふものは、何んなものであるかと云ふと黴菌を培養いて見ますると細菌が鈍圓になつて兩側が膨れで卵子狀の鈍狀の黴菌であります之れは自働性の無い丁度斯ふ云ふ風な形です之れは斯り（此時ペスト菌の圖を指示す）小さくて分りませぬが此兩端が肯だ色素で染てありますが斯云ふ樣に眞中が殆んど色素を取つて居りませぬ、只兩端丈が色素によく染まりまして恰も球菌を二つ並べた樣の外觀を呈しますが能く見ますと一の桿狀菌でありますが健全なる黴菌は皆斯云ふ風の形でありますが併し此黴菌は時として非常に變形を起します（此時變形の圖を指示す）此菌にありまする通り妙な形になつて或は棍棒狀とか或は亞鈴狀或は球狀或は又二つ連なつた如く或は杓子狀等で種々の形を呈します斯云ふ樣に千差萬別の形をなして居るのは種々の事情から起るので培養に培養して或原因からして其黴菌の繁殖するに故障があると云ふと非常に變形をするのでありますが其他此死体が長く置いてある時或は死体が外界の非常に高い溫度に曝らされた時等に其死体の血液から取て見ますると非常に變形を致します此變形するのはペストに特有てあります現に角別にも少々は變形を呈するものがありますが斯云ふ風に著しく變形があると云ふことがペストの診斷上大切になることであります時には斯云ふ風に鎖か繋がつたやうになる事もあります即ち肉汁の中に培養して見ますとさう云ふ風に鎖を繋いだ樣に長くなるのであります兎に角黴菌の形と云ふものは今迄申上た樣な形であります夫で此黴菌に依て起るペスト病の臨床上の症狀は如何な風になつて現はれるかと云ふことを申しますが臨床上ペストは三つの種類となつて現れる即ち腺ペスト皮膚ペスト肺ペストと此三つの種類であります然し其種類の何れを問はず若しペストに係ると三種通有の症狀を呈します如何云ふ風の○狀を呈しますかと云ふと第一心臟か先に犯される即ち心臟の衰弱を來します其爲に心臟の働が早くなつて脈を見まするど大小不整或は早くなつたり或は遲くなつたりして終に小さくなつて觸れ惡くなるやうにして頭痛とか眩暈等か起りまして精神が朦朧して直に人事不省になります顏面を見まするど異著になつて目が窪つて夫れから非常に苦しいやうな形をするのがあります此病狀を相前後し病症によりて或は鼠蹊腺が腫れるとか或は皮膚に膿泡等が起りますか或は肺炎の樣な症狀か起ります故に腺が腫れれば腺ペスト皮膚に潰瘍を起すとか膿泡か起りますと之は皮膚ペストでそれから肺に肺炎の樣な病狀を呈して咯痰をするやうになると之れが肺ペストでありまず此腺ペストと云ふものは如何云ふ風であるかと云ふに無論今話をした樣に何處かの淋巴腺が腫れるのでありますが突然淋巴腺が腫れるのは勿論どこか傷があつて其處よりペストの黴菌が這入たのでありますが愛に注意すべき事と云ふのは目に見へない傷か非常に恐しいのであります

一月中京城氣象概況
（京城測候所報）

一月一日北滿地方に起りし低氣壓は途東を經て黄海に來り二個に分裂し午後日本海に出し翌且終日霏々として降雪し積雪二寸餘に及びたれども三日以後は朝鮮滿洲方面を通過せし低氣壓ありて南風吹き氣溫上昇し上旬は比較的温暖なりしが中旬に入り大陸の高氣壓急昇して七百七十八粍に達し北西の寒波增力し氣溫降下して十三日未明零下二十一度五を示し當所創設以來の低極にして爾後數日に亘り零下十七八度を上下し二十日に至り低氣壓滿洲に出現したれども却て高氣壓は貝加爾湖附近より揚子江域に擴張し下旬の上半は寒氣甚烈して廿四日第二の最低零下十七度に降れり然れども下半は屢々東海の間に低氣壓來進し氣界攪亂せられ氣溫の下降を妨げ廿九日の八度八は既往本月中見ざる高極なり又三十一日は時ならぬ降雨となり雨量二十六粍八に測れり而して平均氣溫は平年に等しく氣溫は著しく低過にして兩極の差多く風速度亦平年に似れども最多風向は正反對にして東風を主に北西相亞げり又曇天少なく快晴多きに拘らず日照時數は格段なる不足を告げ降水量、同日數及雪日數は昨年及平年より超過し蒸發量は平年と同量なり

項目	本年	昨年	平年
平均氣壓（粍）	七六五、五	七六三、八	七六五、五
平均氣溫（攝氏）	（一）五、一	（一）三、四	（一）三、九
最高氣溫の極	八、八	八、〇	八、〇
最低氣溫の極	（一）二一、五	（一）一九、九	（一）一九、九
平均風速度（一秒時米）	二、六	三、〇	二、五
最多風向	東	西	西
平均濕度（百分率）	六八	七五	七〇
日照時數（同上）	四二、一	五一、一	五一、三
蒸發量（粍）	四七、七	三三、九	四七、五
降水量（粍）	二七、六	三、八	一五、八
同上日數	一〇	九	八
雪日數	一四	一	一〇
快晴日數	三	四	五
曇天日數	六	八	八
霜日數	一六	一七	三

外事一束

▲墨國● 革命軍はジユアレス市を占領し假政府を組織すべき希望を以て同市を東西兩面より砲撃せんと準備せり

▲獨亞● 協會總會の席上會長デルコルク男は淸國內政の進歩及日本の殖民事業に於ける絶大の成功を切言したり

▲獨逸● 最近の人口統計は實に四千十五萬七千五百七十三名の總數を示めし前囘の統計に比し七分六五一を增す

▲土國● は英國が斷乎として其利權を主張せる爲めメソポタミヤ及波斯灣に就き協議すべく公式の希望を聲明す

▲南阿● 戰爭の際ボーア軍の勇將たるログロンヱ將軍最近同將軍は力盡きロ元帥に降れるも其勇猛は人皆之を知る

▲淸廷● は滿鐵會社より防疫費補助として十五萬元を寄附せるに對し同社の好意を感謝せる上諭を傳達し來れり

▲英國● 皇帝は來訪中の獨逸技師を引見し朕は父帝の後を享け兩國民の平和を期圖する各運動は喜ふ旨宣示せり

俳句

●漢陽吟社發句集（上）

窯なから鶯も聞く山家哉　朝松
梅咲ひて五軒在所の朝寐哉　悟竹
雪解や姿かへたる東山　梅窓
西窓の障子匂ふや梅の花　朝月
蜆賣うき事多き身なるらん　都天女
南窓に日のさす家や梅の花　其月
吾顔に似た凧揚る子供かな　悟竹
中の脊に土產の凧の動き兒　西都
きれ凧や柿の木越に嵐山　半餘
觀あればさせまし者を蜆買　米水
雪解をまちて夜を泌しけり　梅谿
賣る人の心買ふたる蜆かな　其月
花もなき野に賣鳥の爲音哉　如春
凧揚や風の力のある限り　米水
鶯や小藪つゝきの聲の聽　如春
大空やかぶりふりつゝ奴凧　如眠
海遠き里の馳走や蜆汁　如春
雪解や日に／＼殖る濁沼　悟竹
雪解の山から風の濕みけり　悟竹
梅咲や藥家ながらも奇麗好　其月
梅咲て豐かに見ゆる在處哉　悟竹
梅手折る人美しき月夜かな　如春
思はざる小川に蜆二三升　朝松
折手にもてはる／＼梅の匂哉　德女
頁鳥の鳴き晴しけり朝の匂　半韓
寒ろ私の家から出たり蜆賣　其月
夜梅や女ばかりの下やしき　鮎春

人 梅咲や賤か伏屋のとかる／＼　孤天女
地 雪解や下駄はいて來る肴賣　其月
天 瀨の音の日に／＼太る雪解川　如春
追加 寒月や一輪しろく梅薫る　判者 鄰堂

山中鹿之助
七十七回　西尾麟慶演



生死之助が九郎左衛門を恥しめたる有樣は心よくぞ見わたるなり、斯くて勝久公起ちたまひ 勝「余が初陣の手初めなり」と遂に九郎左衛門の首を刎ねて父義久公幽閉の無念を晴し床几にかゝり勝久公が 勝「勝ぞきあげい」と爰でエイ／＼／＼エイ／＼／＼エイ／＼／＼オー／＼／＼と鯨に尼子回復の勝旗を城頭に歸へしました、此の事を發き傳へまして以前家臣が追ひ／＼馳せ加はり、最と大丈夫に相成ッた、此時將軍家より直に毛利家へ御沙汰あッて、取取す義久を尼子へ歸すべき命令を下しました、爰に及んで大膳太夫敵對は利あらずと思ひ、叮嚀に取扱ひ雲州より之を播州上月の城内へ送り歸しました其の志しに愛で將軍家より毛利を推擧を爲し、毛利大膳太夫兼陸奧守 任じました、將軍義輝元就を御召しになりまして、尼子家と萬事和睦をれ取り扱ひになる、爰によんで天下は泰平、尼子には親子の對面、死せしと思ひし主從の會合、一方には九重姫を中御門家より迎ひまゐらせ、柵鹿共上月へ來る、多くの利子をつけて軍用金も貸せし菊酒屋方へ返却なし、而して兆殿司に七堂伽藍を建立して謝禮と爲し、其の東郷寺の片脇に一寺を建立して森脇千代丸の靈を弔ひ森脇寺と號し、兵庫之助が病氣全快なさしめん爲に、再び勸めて身を沈めし浮船は身受けして其妹浮橋を是れ又藪中茨之助身の料を贖ふて妻となし、爰で人呼で尼子の十勇士と唱へます人々殘りなく揃ふまして御座ります。第一には山中鹿之助幸盛、明家庵之助、藪中茨之助、高橋渡之助、早川鮎之助、横道兵庫之助、五月早苗之助、大谷古猪之助、澁波碇之助、寺本生死之助之をもつて尼子十勇士と申します、雲州富田の城へ義久、勝久、白綾姫をうつし參らせ、此處を本城として上月の城中には山中鹿之助奥方九重姫、是をもつて城の主として是れにて政權をつかみ、近國を攻取つて旗下に屬さしめ、十勇士の人々に夫々に居城を分ちて主人と爲し先づ尼子の家は萬代不易、鹿之助も一時安心をいたしましたが、此の敵毛利元就が昔通の人物なやア御座ひません、折あれば尼子を亡ぼし、雲州富田播州上月にかけて已れの所領と爲し、中國十一州を掌握爲さんの大望、此の元就安藝の國二郡の主人、夫れから出ました者で五才の時に守役の背に乗つて嚴島辨財天に參詣をいたしました其時に守役の老人が ○「奇妙頂來南無辨財天、何卒此の若樣もれ父上同樣、安藝國二郡の主人に爲さしめ玉へ」と祈願いたせしに脊中居りました、元就がカヲ／＼と笑ひ……笑ひ方にもいろ／＼ありまして、鬼角豪傑はカラ／＼と笑ひたがる三國志を見るど張飛橋に於て、魏の曹操の百万の兵を睨み返した張飛が、カンラカラ／＼と笑つたと申します、砂利場に石油の銅盤を引づッた樣、妙ナ笑ひ方がある ○「若樣何んで貴下はれ笑ひなさる、私が辨財天へ祈誓をかけて居るのにれ笑ひなさるのは神への不敬」元「イヤ爺イ、今聞き居れば安藝の國二郡の主人にしてくれと申して居るが、物は大きく願ふて小さく叶ふものぢや、安藝國二郡の主人にしてくれと願ふて、一ヶ村位の長にすらなれぬよつて日本國中殘らず予の有にいたしてくれと願ふて、中國八ヶ國位のならのだと申しました、是が僅か五才の時で御座ひます、守役の老人驚ひて、此の人は只の人でない、豪イ人物、今にもれ父上より豪くなるだらふ、と非常に感心いたしたさうで御座ひます、其の毛利元就が將軍家の命によつて一度び和睦いたしましたが、與に尼子の爲には眠れる獅子の如く、少しも油斷が出來ません、義久は晴君だから一時の泰平を喜び、誠に幾千代も變らず如斯云ふ風だと思つて居ります、山中鹿之助は一日主人義久に對ひまして 鹿「手前も兩親の信州姥捨山の麓に閉居いたし居ります、久々にて面會いたしたく存じまする故、三ヶ月の間御暇を願ひたい」と申上げた、義久願ひの通り聞き濟みました。

東京電報（十三日）

聖慮窮民に及ぶ

天皇陛下には紀元節の佳日に當り午前十時桂首相を御前に召させられ左の勅語並に施療救療の資として金百五十萬圓を賜ふ旨仰出さる

勅語

朕惟フニ世局ノ大勢ニ随ヒ國運ノ伸張ヲ要スルコト方ニ急ニシテ經濟ノ状況漸ク革マリ人心動モスレハ其ノ歸向ヲ謬ラントス政ヲ為ス者宜ク深ク此ニ鑑ミ倍々憂勤シテ業ヲ勸メ教ヲ敦クシ以テ健全ノ發達ヲ遂ケシムヘシ若夫レ無告ノ窮民ニシテ醫藥給セス天壽ヲ終フルコト能ハサルハ朕カ最モ軫念シテ措カサル所ナリ乃チ施療救療ノ資ニ充テシム卿能ク朕カ意ヲ體シ宜キニ随ヒ之レヲ措置シ永ク衆庶ヲシテ頼ル所ヲ知ラシムルコトヲ期セヨ

▲御下賜金の使途

今回陛下より御下賜に相成たる貧民救療の使途に就き近日閣議を開きて決定す

▲御沙汰傳達

渡邊宮相より桂首相に宛て左の通り御沙汰書の傳達ありたり

御沙汰

一金一百五十萬圓

右最前勅語ノ御思召ニヨリ施療救療ノ資トシテ下賜候旨御沙汰アラセラレ候此段傳宣候也

明治四十四年二月十一日　宮内大臣子爵　渡邊千秋

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

▲紀元節と御親祭

十一日は紀元節に付き午前八時宮中皇靈殿に於て朝の祭典を行はせられ午前九時より御親祭に移り　聖上陛下には午前十時出御御參拜あらせらるゝ等の御都合に依り岩倉掌典長に御代拜仰付られたり次に栗田口侍從は皇后陛下の御代拜を奉じ次て皇太子殿下には親しく御拜あり其れより參列の各皇族方を初め大勳位親任官並びに勅官の諸拜ありたり

▲紀元節御祝宴

十一日は紀元節に付き宮中豐明殿に於て御恒例により内外各臣僚を召させられ御宴を開かせられ諸員の最敬禮を受けさせられ左の勅語を賜はりたり

勅語

本日ノ紀元節ニ當リ各國代表者並ニ諸大臣等ト祝宴ヲ開キ歡ヲ共ニスルハ朕ノ滿足スル所ナリ茲ニ友邦代表者君主及大統領ノ健康ヲ祝シ併セテ交際ノ益々親密ナラン事ヲ望ム

總理相は群臣を英大使マクドナルド氏は外賓を代表し奉答したり

▲皇后陛下御祝宴

皇后陛下には沼津御用邸にて香川皇后宮大夫以下御用掛山内渡邊兩主事柳原典侍以下高等官女官等の祝儀を受けさせられ正午同御用邸に於て内宴を賜ふせられ供奉高等官及女官等に御陪食仰付られたり

●李王家の系譜

李王家の系譜は山口圖書頭井上頼圀博士の手に於て編纂中なれば近日成案となるべし

●本日の貴族院

本日貴族院にては昨報告了るや四十三年度追加、特別會計追加、特別會計日程及請願十六件一瀉千里の勢を以て全部可決確定せり

●朝鮮銀行法案

朝鮮銀行法案は既に法制局に於て調査修了せるを以て一兩日中に議會に提出せ[illegible]

●東拓法の行惱

東洋拓殖會社法案は目下内閣に於て審議中なるが閣員間にも議論區々にして容易に纏まらず目下行惱の状態にあれば議會提出には尚多少の日子を要すべし

▲臺灣人の斷髪會

臺灣人の斷髪會成立して十二日開會式を擧げたるが當日は百餘名の斷髪者あり一同休業して祝意を表したり

▲谷子爵の敍勳

貴族院議員子爵谷干城氏は今回勳一等に敍し旭日桐花大綬章を授けらる

京城電報

●麻田に奇病發生

今十三日京畿道麻田郡分遣所よりの報告に依れば麻田郡江新面山溪里に三名、同面セキくしジョ四名、同面カッケン里に一名計八名唯今吐血して急に死亡したる者あり病状は南川の者と類似したるが如くにして同地は交通を遮斷し抱川駐屯の軍醫は同地へ急行したるが警務總監部よりは宮尾軍醫十三日正午出張せり

●露領の檢疫

十二日午後三時間島の永源總領事よりの電報に依れば露領にては浦潮寧地方より露領に入る者に對し五日間抑留檢疫を開始せりと云ふ

●沿線防疫訓電

十二日午後鐵道局長は各驛長に對し朝鮮各地鐵道沿線に於てペスト患者又は疑似症發生の場合は左記各項により防疫上遺漏なきを期すべき旨の訓電を發したり

一 疑似ペスト患者發生の場合に於ける處置

一 發生地附近の驛に於て荷物の受付發送を一時謝絶する事

一 乘客に對しては病名判明する迄一時乘車見合せ方を穩かに協議せしめ切符發賣を爲さゞる事但し本人承諾せざる時は警察に於て説諭する事

●山根囑托の視察

ペスト狀況視察の爲め去る七日歸任したる總督府山根囑托は十二日防疫委員部評議員を囑托され十三日午前九時十分南大門驛發安東縣に向ひ關東州に於けるペスト流行の状態及之れに對する施設を視察し大連にて滿洲病毒地視察の爲め東京を出發したる北里博士及江木部長と會見し共に朝鮮に歸る筈なるが防疫本部よりは目下新義州へ出張中なる白石警部を隨行せしめたりと云ふ

●警備船の派遣

ペスト流行地より朝鮮に入る旅客取締其他防疫實行の爲め釜山に警備船を置くことゝなり[illegible]水警備所屬船一隻派遣することに決定せり

●事業公債の使途

度支部當局者の語るところに依れば朝鮮の事業公債は五千六百萬圓以内に於て公債又は借入金に依る筈なるが其使途は五ヶ年計畫にて治道費一千萬圓税關工事費釜山四年計畫三百八十二萬四千六十圓仁川六年計畫三百四十八萬三千三百九十四圓鎭南浦三年計畫八十三萬五千圓平壤大同江税關出張所二ヶ年計劃十二万九千三百七十五圓にして鐵道建設及び改良費は五ヶ年計劃にて六千二百三十九万七千三百四十三圓追加豫算百二十九萬八千七百十五圓（京釜線改良工事費其他）にて合計六千三百九十萬六千五十八圓なるが此内二千六百二十三萬六千二百十八圓は四十三年度迄に支出濟の分にて四十四年度以降に於ては三千七百四十五萬九千八百四十四圓を支出し四十八年度迄に完成の筈なり

●朝鮮航路船

商船會社の朝鮮經由長崎大連航路は複航を長崎に直航する結果自然碇泊數短縮され從來一個月四航海に過ぎざりしもの六航海を爲し得ることゝなれり大連より仁川に航する旅客に對しては頗る不便なるも朝鮮より大連に向け輸送する貨物及び乘客の爲めには利便を増したりと

●有望なる金礦發見

今回黃海道平山郡牡丹山に連る山に最も有望なる金礦を發見し目下其調査中の由なるが礦區と礦質等朝鮮にも稀に見る良金礦なりと

●朝鮮連絡驛追加

鐵道院は朝鮮鐵道との連帶旅客貨物運送取扱手續第一條に依り驛所中に左の通り改正を爲し十五日より實施す

▲旅客及手荷物取扱驛（追加）北海道線函館、小樽、札幌、旭川、

▲大小荷物取扱驛（改正）院線各驛行（山陰、總武、鹿島線各驛を除く）ど朝鮮鐵道局線各驛相互間、但し北海道線着のものは小荷物に限る

●九州と朝鮮海

朝鮮水産組合の調査に係る客年中朝鮮海に出漁せる九州各縣別船數並に乘組人員中船數百艘以上の分を擧ぐれば如左

縣別	船數	人員	縣別	船數	人員
長崎	四四三	二、一九九	福岡	二六五	八三八
熊本	三三〇	一、一七七	大分	一八一	五九二
佐賀	二〇四	三三三	廣島	一七九	一、一二九

●撫順採炭の回復

撫順西堅坑日本坑夫の病氣は奉天防疫本部に於て檢鏡の結果全くペストどにあらずと決定さるゝと同時に封鎖を撤去したり目下の採炭力に二千三四百噸なるが今より四五日を經過せば正月の爲め休業し居るもの續々入坑し漸次に採炭力の回復を見るべし

●東拓本社の建築

東拓會社に於ては愈々來る四月より同社の建築に着手する筈なるが先づ附屬建物の建築を本年中に竣成し本社の位置は中央に空所を置きて來年頃より着手する筈なりといふ

勸業株募集締切 豫期以上の不結果

輓近經濟界の發達趨勢は單純なる銀行業のみにては其用を爲さず故に此趨勢に適應すべき特種機關設立の必要ありとし破天荒の大計劃を敢へてしたる大日本勸業株式會社株式募集の成績を聞くに當地に在ては第一銀行及百三十銀行の兩支店に於て申込を引受けたるが孰れも甚だ

▲不成績を極め

其結果は實に左の如し

行名	發起人引受株	一般募集株
第一銀行	五六〇	四三九
百卅銀行	六〇〇	四六
合計	一、一六〇	四八五

則ち一般公衆より募集し得たるものは僅かに四百八十五株にして此口數は第一銀行十五名百三十銀行二名の少數に過ぎず更に之を一般募集總株二万株に對する時は實に四十一株二分五厘に一株を得たるのみなり而して斯かる不成績は殆んど

▲空前の失敗

にして其計劃の彼が如く破天荒なる丈け夫れ丈け世人の注目を惹き早くも前途の危殆を叫ばしめつゝあり元來京城の金融界は之を内地に比すれば尚は幾分の餘裕ありて現に各銀行に見るも預金は常に貸付を超過し隨て恰當なる放資事業を求めつゝあるは蔽ふべからざる事實なるのみならず殖民地の通弊として漫然成金的成功を望むもの多く故に會社熱の如きも比較的旺盛なるべきに此不結果を見たるは同社の爲めに大に憂ふべき現象なりと云へり更に一方發起人及贊成人の引受株と稱するものは十八万株の大多數なるが此内

▲京城は如何

かといふに名を發起人に列するもの引受株數は内地人七百株朝鮮人千四百株にして外に數万の贊成人引受株あり然るに締切當日までに如上の人々が銀行へ證據金の拂込を爲せるものは兩者を合して僅かに千百六十株のみにして發起株に對しても尚は九百四十株の不足ある譯なり之れに加ゆるに贊成株の分を以てすれば豫定の募集株に比し著しき懸隔あるは一般の瞎易きなりとす聞く處によれば既に一たび發起人となり又贊成人として應募を承諾しながら利巧にも會社の前途を危み折角の約諾を反古にせるもの數十名を算せる由にて兩銀行に於ても其如何にも多數なるに驚き居れり恁かる狀態なれば

▲内地も亦然る

べく現に會社の發表せし發起人引受株數を見るに僅かに二万八千二百株にして十五萬八百株を發起人に於て引受くる筈なるが此多數を果して内地に於て募集し得たるや否や未だ其通知なきを以て知るに能はざるも如上京城の結果に顧みれば思ひ半ばに過ぐべし思ふに同會社が始めの勢脱現の如かりしにも拘はらず斯かる不成績を示めせるは其計劃の徒らに尨大なると目的營業の不明なるに因るなるべしとの事なり

●聯合會開催打合

來る四月京城に於て開會する筈なる大日本商業會議所聯合大會の件に就き目下東上中なる山口京城商業會議所會頭は十二日東京に於て東京、大阪、名古屋、神戸、京都、横濱の六大商業會議所會頭と會見して打合す所ありたりと報道せり

●併合後の徴税成績

從來朝鮮の徴税年度は暦年度に依れるが昨年日韓併合後は之を改め我内地と同様四月より翌年三月迄となし昨年十月より實行したるが今四十三年十月より本年一月十五日に至る内國税徴收額を見るに五百九十萬二千圓にして之を來る三月迄の豫算額六百六万九千圓に比すれば十六萬六千圓の不足を示せり因に四十三年度下半期間の減免税額は約六十万圓なりと云ふ

●移出税撤廢に就

穀類移出税撤廢運動の爲め東上中なる山口太兵衛氏よりの情報に依れば移出税は本年度より撤廢さるゝこと不可能らしと云ふ

んも來年より廢止する見込は充分あるが如し又内地の輸入税に就ては大阪の朝鮮貿易商組合と提携して極力運動中なる長谷場議長を始め政友會側は殆民派を除き大体賛成の意を表し居れり輸入税率の引上は極力防止して前年通りの税率を維持することに歸着する見込なりと云ふ

●日韓瓦斯の總會

日韓瓦斯電氣株式會社にては來月十日東京に於て定式總會開會の筈なるが昨年度は六千萬圓の純益金ありたる由にて配當は七分に內定したりと是れに就き岡崎專務は來る十七八日頃東上の筈なり

●秋山參事官東上

秋山參事官は來る十八九日頃當地出發東上すべし

●松永師團長巡視

松永第二師團長は十二日午前九時半龍山發列車にて太田中尉を隨へ平壤鎭南浦方面の巡視に向ひたり

●團隊の副官會議

十二日午前九時より第二師團司令部に於て同師團各團隊副官の會議あり午後五時を以て終了する筈なるが同六時より各團隊副官は京城ホテルに會して晩餐會を催ふす由

●吉原副總裁歸任

上京中なりし吉原東拓副總裁は四五日中に歸任す

●中村少將歸任

歸省中なりし中村少將は十二日平壤に歸任せり

●木村韓銀理事の東上

一月中旬より東上し居たる三島韓銀理事は去る八日歸京し引替りて木村同理事は十一日東上せりと

●大橋第一分隊長

去る八日管内視察として楊州郡へ出張中なりし大橋第一分隊長は楊州郡各地の視察を終へなば楊平郡をも視察すべく歸任期は多分本月二十日前後なるべし

●師範校の生徒募集

漢城師範學校にては本科一學年生百名速成科生六十名を募集する由にて入學志願者は來る三月五日迄に願書に履歷書を添へて試驗所に提出すべしと

●民團豫算編了期

京城居留民團四十四年度歳入出豫算は年度更始切迫の爲め當局理事者に於ても其編成を急ぎ居るが何分にも新年度は各種の新計劃多く且つ一方に在ては京龍合併後に於ける龍山現行の諸規則は三月三十一日限り消滅すべきに就き是に伴ふ法規の改正並に先般來着手中の税制調査等孰れも新豫算編成上必要の事項多々あるを以て是等決定の上ならでは歳入の豫算を計上する能はず旁々其編成を了するは來月下旬なるべし

●議事細則調査委員

去十日の京城民會に於て高橋章之助氏は議事細則中不備の點多からされば此際調査委員を選定し是れを一任せんとの建議を提出せしが賛成者ありて成立し委員は議長の指名に任かせ即ち左記の五氏當選し後各議員の二三質問あり民長說明し斯て午後三時同會を告たり

高橋章之助　曾我勉　原勝一　皆川廣濟　和田常一

●税則改正と民會

京城民團にては税則に改正を加ふべく過般來調査中のところ大体卒業せしに付き來年度豫算決議民會の以前に近く民會を招集して是れを附議する筈なるが當日は必らずや花々しき論戰を見る事ならんと

●税制調査會開期

京城民團の税制調査會に於ては各主査に於て目下それ〳〵調査中なるが右終了次第委員長は來廿日頃同會を招集して開議し同時に改正税則及び來年度豫算に就ても民團理事者の諮議に應じ調査するよし

馬鹿馬鹿しき入札 東拓の失敗

東拓釜山浦出張所にては其取立小作籾米一万二千七百六十俵を公入札に付し去七日之を執行せしが當時地方未曾有の大入札なりしより非常の注意を惹き乾坤一擲の運命を決せん覺悟の下に參加せるもの十數名の多きに達せり然るに開札の結果に依ば河野某の五萬六千八百二十三圓六十錢を最高價格とせしが意外にも同社豫定價格七百八十圓を距る事實一萬二千餘圓の巨額なりし爲めに遂に再入札を宣言し一同をして唖然呆然自失するの外なからしめたり則ち兩者の算定を見るに東拓は一俵五圓五十錢落札高入札者は四圓六十一錢なれば其差八十九錢にして更に之を玄米に換算せんか約一圓八十錢の差を生ずるを以て相互の懸隔如何にも甚しきと言ふべし其原因は同社が標準を馬山米に採りて豫定價格を定め同地方產の品質如何に考及せざりし爲めにして其不明も斯くまで達すれば寧ろ

滑稽

の感あり而して更に驚くべきは入札心得書に於て一俵は二石と見做すべし又其平均貫量は二十七貫五百目以上と心得べく且つ落札後

異議

を言はしめざる規定を設けありて殆んど專制的暴壓を試みたる事是なり斯かる入札に參加せしもの〻驚愕も笑ふべき限りなるが

羊頭

を懸けて

狗肉

を賣らんとするに均しき同社の

暴狀

も亦極まれりとて非難の聲高まりつゝあり一方同社にては小作料豫算に大違算を生じ重役等の苦心名狀すべからずと聞く

公人私人

△高橋孝治氏（北海道廳技師）十二日山本旅館に投宿

△八木辰馬氏（平壤郵便局長）十二日山本旅館に投宿

△鮎川道氏（三南新報社長）十一日不知火旅館に投宿

△乘原八司氏（總督府秘書官）十[illegible]城館に投宿

△安部充家氏（國民新聞社理事）十一日天眞樓に來宿せるが同氏は總督府訪問平壤等を視察の上本月末歸京する筈

▲仁川港の出入船舶▼

海州丸　十四日大阪より入港

通運號　同横濱より入港

勝利丸　同大阪より入港

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　十二日の分

乘車客 五一三　下車客 六〇〇

乘車賃金 八一七、二一

▲南大門驛荷扱高　十二日の分

發送 六七噸　到着 三三三噸

貨物賃金 五八〇、六一

▲龍山驛乘降客　十二日の分

乘車客 一六九　下車客 一七六

乘車賃金 一五五、二六

▲龍山驛荷扱高　十二日の分

發送 一噸　到着 一八九噸

貨物賃金 一七九、一七

▲治外法權▼

我　皇室が其內帑金百五十萬圓を窮民施藥の費として下賜せられたのは近來の美擧だ、[illegible]國民爲に貫ふ[illegible]と知り知るべからずであるのだ▲獨逸の國家社會主義、非はビスマーク以來同國の爲政者に因つて唱へられて居るのだ、不幸同國には國家社會主義を實行すべき中心が無いのだ、故に理論としては行はれても實際に於ける主義の實行は亦々遠い事だ▲之に反して我國には一般國民の宗家とも云ふべき皇室があるのだ、皇室は古來我國家社會主義實行の中心であつて、今度の御下賜金の如きも實は僞善ではないのだ▲帝國議會で朝鮮の豫算に嘴が附かないのは總督の責務であるのだ、之をこれ悟らずして無駄遣をする議大共は總督に月を掛くと謂ふのだ▲仁川警察署の[illegible]警部が日本社に向かつて疑獄記事掲載の中止を命じて來た、籤書とあれば仕方がないと本社は其命に服した▲ト一口かどうしたものか近著の内地新聞には疑獄關係の記事が有るは有るは春川檢事の膽を抜かす程有るは▲元内部次官岡其他の收賄、若し本當なら苦々しい限りだ、右や左り、左りや右、一網打盡、掃ふべしであるのだ▲祿盗人と云はるゝが辛さに虎醤山張正治がヤツて來た、サア船頭多くして船山へ登る、正治たる初陣を受取つたら歸るべしだ▲新議員原某から出た議案は私利混同との噂がある、民團理事者は屈に難だ。

▲相場電報

（明治町西村支店着電）

▲大阪株式（三月限）

▲京坂 同	六五、八〇	六五、〇〇
▲電鐵 同	六五、四〇	六五、〇〇
▲大阪 同	六九、六〇	不明
紡績 同	六九、二〇	六八、八〇
鐘紡 同	出來不申	出來不申

▲大坂 同	一三三、〇〇	一二一、〇〇
▲株式 同	一三二、三〇	一三〇、九〇
▲同直 同	一三〇、七〇	一二九、〇〇
▲取引 同	一三〇、八〇	一二九、四〇

▲大阪期米

寄十五圓三錢▲止六錢▲三月寄十六錢▲止三十三錢▲止二十錢▲四月寄二十七錢▲止三十[illegible]寄二十二錢▲四月寄三十一錢

●十三日備場二月寄十五圓十錢▲三月寄八十錢▲最高、低、止同上▲四月寄十圓三十三錢▲最高三十九錢▲最低三十八錢▲止三十九錢

●十三日相場當月出來不申▲三月寄十圓八十一錢▲最高、低、止同上▲四月寄[illegible]

●憲兵有志懇親會　憲兵第一第二第三分隊の有志懇親會は十二日午後三[illegible]き頗る盛會なりし

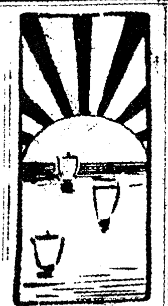
▲京城手形交換高▼

三日　一一七〇一四五四　六〇七

▲大阪株式（三月限）（前場）（後場）
▲神戶寄電鐵引　出來不申　三八、六〇〇
▲鐘紡同　六九、二〇〇　六八、八〇〇
▲電燈同　出來不申　出來不申
▲東京同　一七、六〇〇　一六、一〇〇
▲株新同　一一七、〇〇〇　一一六、一〇〇
▲取引同　一三〇、八〇〇　一二九、四〇〇

▲大阪期米
●十日相場二月止十五圓八錢▲三月止十七錢▲四月止二十九錢▲後場▲二月…

▲仁川米豆取引
●十三日前場二月寄十五圓十錢▲三月寄二十二錢▲四月寄三十一錢
●十日後場當月出來不申▲三月寄十圓…錢▲止三十九錢
●十三日相場當月出來不申▲三月寄十圓八十一錢▲最高低止同上▲四月寄十圓三十八錢▲最高五十一錢▲最低三十八錢▲止五十錢



活動寫眞　覆面子

十三日 朝の南大門驛

朝霧に包まれて晴れやらぬ街區に、米よ〜〜と呼ぶ聲も靜かに響いて、牛車のたど〜〜しきも何んとなく弱々しい感じが慟く。

停車場の輪廓は、薄く平坦に浮き上がつて寂寞であるが、手荷物扱所內には、長方形の大箱が二個ある。

平壤鎭南浦 **水谷海軍大尉** 行 差出人、京城 **浦尾** と二行の文字が鮮やかに讀まれた、棚上はと見れば、ソンタクホテル出の洋人のトランク數個と、北陸線富山、永楝六郎の、木箱其他。柳村とか加藤とかの行李が橫はつて居る。

待合室に毛皮の外套を被ぶつた一人の赭顏短身の紳士が從者と談話を交へて居る、之れは前警視廳にあつて衞生に鳴した現今の

代議士 **山根正次**

氏であつて、曾つて蠅と黑豆とを見誤つたれ方である、今や滿洲のペスト猖獗を極めつゝあるに際し特に防疫上に就て **新義州方面** に向ふべく來たのであるが、何うか鼠と猫とを見違はない樣に願ひたい。

傍らを見れば一個の手提カバンがある 朝鮮總督府專賣局長 **上林敬次郎** 氏の新らしい名刺が見へた。

折柄、車夫の携へ來りし小行李には不知火旅館の紙片が見へて姓名がない。ビール半打には、御餞別帆足樣、今井藤坂と記されてあつた。

午前九時、一聲の汽笛は、曇りし空に響いて釜山行列車は、緩やかに驛を放れて、更に新義州行列車は、同九時十分に、一抹の黑烟を殘して去つた。

去りにし構內は **喫茶店** のカーチン色古りて、褪せたるペーパーの痕も黑く光つた。

●十一日のかるた戰

既報の如く京龍聯合派の聯合主催に係るかるた競技會は大和町通信局俱樂部に於て開かれたり **幹事** は相澤、**松岡**、馬路の兩子にて會せるもの五十餘名 **三敗失權**、規定にて競技入る當日は出戰の豫なりし霞會、前田高松それからの岡宮女史等の漸く競技半ばに出場したる爲め戰に加はらざりしは主催者側に取りて遺憾の事なりしと聽せらる併しながら一方仁川村雨會員一部五人の出戰を見たるのみか同地女流の名手相馬夫人も又其一員たりしぞ嬉しかりき入賞者は下の十二名にして午後八時散會したり序を以て一言す當日の **競技中** 僕の特に見苦しく感じたるは永登浦より出戰したりと傳へらるゝ某及二三者が送り札買ひ札に就き每に **醜陋** を極めたることなり特に僕は玆に云ふかるた競技は賭博にあらず如何にしても勝てば可しと云ふものにあらざるを知れよと之れに反して其の他の諸子の互讓振りは見上げたものなり因みに仁川 **村雨會** **發起** となり陽春三月の候を期し **京龍仁聯合大會** を開催すべき **計畫** あり各方面に涉りて交渉しつゝあり

一等永田（漢江）二等松岡（それから）三等尾路（同上）四等蒲田（かすみ）五等草野（漢江）六等有馬（村雨）七等細邊元山（賀）八等大前（それから）九等細島（漢江）十等梅屋（同）十一等古賀（それから）十二等荒牧

●强盜逮捕

本月一日午前五時頃德壽宮警察署詰巡查西大門外居住田中源七方に田中巡查出勤不在中一人の强盜戶を切り破り押入り金七圓を强奪しかね子に重傷を負せたる椿事ありたるが當局者は警察官の威信に關するとて秘密に寢食を忘れ嚴探中西大門分署の手にて去る十日北部北曹洞金龍源方にて該犯人黃海道平山郡生れ孫柄琨（二五）を逮捕せしが該犯人は昨年十一月迄親衞隊付近衞步兵なりしが素行不良にて解隊せられ暴徒團に加入し數ケ所に於て强盜働きし餘罪ありて目下取調中

●各署の鼠買上數

十一十二の兩日各署、捕鼠買上數西大門分署八百八十九東大門分署八百七十四北部署五百五十五南部署五百十八銅峴分署四百七十一水門洞分署四百二十七四區に各署の捕鼠獎勵戰に對する北部署管內各分署の大活動は既報の如くなるが第一回締切成績を聞くに西大門分署一等にて合計四千四十匹北部署三千六百六十七東大門分署三千十八南部千六百九十一銅峴分署千百四十九水門洞分署千五十龍山憲兵分隊三百一同警察署二百二十五昌德宮警察署四十二德壽宮警察署十七匹なりと

●平山牧場の擊劍大會

十一日紀元節當日大和町一丁目同牧場に於て擊劍大會開催されし由にて尙當日演技者の勝負及び數番の仕合は左の如し

○○（村石／森豐）○○（安藤／島田）○○（鈴木／相川）
○○（篠原／柴田）○（西田／軍司）○○（合田／島）
○○（有馬／秋本）○○（佐藤／伊藤）○（宗）等にして
尙模範仕合（矢野／澁谷）（佐藤／藤松）二人掛合
（篠崎／伊藤 平山）木刀形（篠崎木刀形）
（藤松／平山）眞劍形（藤松／平山）あり

非常の盛會を極めたり

●筑前琵琶演奏會

橘流筑前琵琶第三次溫習會は去る十一日紀元節の午後六時より南龍山大島町美成舍に於て開會せられたるが頗る盛會なりし

●捕鼠懸賞當選番號

昨十二日午後一時より警務總監部に於て京城龍山、第一回捕鼠懸賞の抽籤を行へり明石總長以下防疫本部員並に鈴木北部署長、今村南部署長、松村憲兵中尉、古城民團長立會し古城民長をして抽籤せしめたるが左の如く當選したり

一等（三十圓）五、三九四　二等（二十圓）六、八九四　三等（十圓）三、八九四　四等（五圓）三、三九四、三九四　五等（一圓）一七〇、二二四、五八四、九五四、一三三四、一七〇七、二〇六四、二四三四、二八〇四、三一七四、三五四四、三九一四、四二八四、四六五四、五〇二四、五七六四、六一三四、六五〇四、六八七四、七二四四、七六一四、七九九四、九〇一四、九〇二四、九〇九四、一〇〇一〇四、一〇九四、一〇五二四、一一二四、一二七九四、一三一六四、一三五三四、一三九〇四、一四二七四、一四六四四、一五〇一四、一九〇〇三四、一九〇一四、一九〇二四、一九〇七四、一九〇八四、一九〇九四、一九一〇四、一九一一四、一九四五四、一九八二四、二〇一九四、二〇五六四、二〇九三四、二一三〇四、二一六七八四、二二〇四、二二四一四、二二五〇二四、二三三〇四、二五〇一四、二五〇三四、二五七四四、二六二〇四、二六七〇四、二七〇四、二七二三四、二九二〇四、二九三〇四、二九三一四、二九三二四、二九三三四、二七三〇九、

以上總數八十五本にして二月二十八日迄に京城龍山警察分署、龍山憲兵分隊にて現金と引換ゆる筈なるが同期限經過後は效果無効となるなり因に右當撰 **一等** は **銅峴** 分署取扱 **大上雜貨店** 員井上幸之助（一八）にして **二等** は東大門分署の取扱にして三月七日買上當撰者 **張永昌**（三五）とて實子は同分署衞生人夫を勤め居る由にて財政貧困者の事とて非常に喜び居る由なり **三等十圓四等** 五圓二本は **西大門** 分署取扱にて三等當撰者西小門外鎭道官舍山口四郎四等當撰者鮮人にて住所氏名取調中同分署の取扱には五等二十一本なりと

●船夫の窒息

仁川花房町一丁目月尾島附近に繫留しある團平船に變死人ありと、の屆出により水野部長久木田醫士と共に現場へ出張檢死を遂げたるに此者は月尾島木村宗德所有の第三日吉丸の臨時雇船夫原籍不詳の戶田某（三三）にて一昨夜午後九時頃船內にて石炭を焚き窓を閉したる儘寢に就きたるより遂に窒息死に至りたる事と判明し死體は民團役所へ引渡せり

●行路病者

愛知縣丹羽郡千秋村五十三番戶當時本町七丁目九十番戶菓子行商人安藤松一郎（四五）長野縣人當時住所不定增澤一六（三八）の兩人は病氣に罹り治療の資力なく他に救助者なきより南部署に於て行路病者として民團に引渡したり

●懲役

山口縣吉敷郡大內村字岡田三百十五番戶當時櫻井町八十八番戶大工職松本隼吉（三）は一月二十六日午後十時頃明治町一丁目左官職增田喜磨太郎方にて羽織二枚外二點を窃取京城區裁判所にて懲役一年六ケ月に處せらる

●窃盜

福岡縣人荻野馬吉（三一）は一月十四日、十八日の兩度に第二憲兵分隊官舍第六號第七號に忍入り長靴二足を窃取檢事局に送らる

●告發

大分縣人當時旭町一丁目七番戶飲食店上田すゑ（三〇）は同縣人藤岡みつゑ（二七）を昨年十二月より酌婦として雇入れ屆出を怠り南部署に告發さる

●仁川捕鼠買上數

十二日買上數は百七十頭にて五圓十錢なり

仁川商店めぐり

新町 **月本商店**

店主月本政次郎氏は京都に生れ幼年にして神戶の菓商店に入りとなり去る明治三十九年十一月僅少の金圓を懷にし當仁川に渡り現今の場所に小間物商を營み薄利多賣主義を實行せしが忽ち人の知る處となり今日の隆昌を見るに至るも氏質朴にして背て驕らず益々店運の繁榮を圖り自今英商館と契約を結び直輸入をなすの域に至りし勤勉の功空しからず店員一同共に嬉々として容に接する樣商人氣質の無く發揮し仁川に於ける商業者中信用ある隨一の店舖と云ふも又不可なかるべし

●演藝だより

●京城座 昨夜不如歸を演じ午後七時演員札止ノ盛況を呈せし兄弟義團は今回亦新派俳優谷一男入團益々觀客の脊髓に報ゆる由にて十四日は血の淚全十二場を大車輪にて演ずる由配役は邊見早太、神原聯隊長（岩村）女房靜枝（堀江）宇佐美五郎（吉井）武田正巳（谷）母かつゑ（松澤）邊見 郎 小泉一郎妻いと（坂本）金子中尉（藤澤）佐久間大尉、馬丁金太（江見）

●浪花節 引續き好人氣なる大坂女義太夫越之助一座十四日の語り物は御所櫻賞入舟（入聟）朝顏日記濱松（一濱助）忠臣藏三段目（越濱）大功記十段目（若太）れ染久松野崎村（土佐濱）播州合邦ケ辻（源八）忠臣藏六段目（高助）三勝半七酒屋の段（當十郎越子）矢口の渡四段目頓兵衞內（越之助）七福神寶入舟まわしの段（掛合）三味線鶴澤大三、竹本三越

●今日の運勢 二月十四日舊正月十六日 ●●一白 金曜 見込違ひ又は失敗ある日なり△二黑 婚談中止或は商約共同の事に忌む他は進んで吉運失負傷防ぐべし△三碧 交際取引上に不平破綻あり新事婚談旅行轉住は凶酒色の害を戒しむ△四綠 共同組合中裁結計婚談に吉他は控へ目の事盜難損傷を防ぐべし△五黃 恩を施して仇に報せらるゝあり他は快欣の日進んで吉△六白 業務上快欣の日進んで利あり他の行事進んで差支無し但し旅行轉住は忌む△七赤 契約修交中裁協商婚談共同結社の事に吉酒色の害を戒しむ新事旅行見合せの事△八白 保證受印裏書其他要求懇願斥ぐべし總じて出費散財多き日なり他は進んで吉△九紫 不和葛藤酒色の害を戒しむ諸事手控への事旅行新事婚談貸借金談見込無

操　茂坊

恐らぬことではあるが私なぞも今となつて、なまじ世間に名を出したのを殘念だと思つて居る、けれども之も成行きなら仕方がない、始めは下らない復讐心見たいなものを起したり、口惜しまぎれに自分の不平を訴へた樣な文がつひ下手だとか上手だとか言はれ出した爲めに最初は只自分の心を慰める爲めと言ふ斗りだつたのが遂、世間の評を氣にするやうになつて、下手だと言はれゝば腹が立つ、上手だと言はれゝば嬉しい樣になつて、最ウ此頃じやア自分もなにも無くなつて、黑と言へば黑、白と言へば白、もウそんな風になつて終つて自分なんか染かへしものも同然で何の面白味もなにもない、唯もウ切れるまで生きてる、と言ふ樣な氣がして、夫れでも命があれば仕方がないと思つて居る。

お互に暑い寒いを知つてる中は思ふ通りゆかないものだから仕方がないと絶念なくちやアならぬ。

世間の人は、よく罪が深いとか、何とか言ふけれど人間が人間の罪の深い淺いなぞが知れるものではない、女には操があつて容貌が好けりや澤山、其外のことは先づ思樣に任せてをく。

不平を言はずに呑氣に暮して居ると運命の神樣見たよな人も呆れて大目に見て下さるだらう。

「ホトポツポ〜〜れ寺の家根から下りて來い、豆をやるから下りて來い、喰べたらサッサ、ト行かないで、ポツ